

令和5年5月24日 発表

# 中小企業月次景況調査結果

## 令和5年4月分

～令和5年4月 データから見た業界の動き～

令和5年5月24日 発表

製造・非製造共に受注量・売上高減少  
事業存続への課題は多く、危機感から景況感は低迷



## 山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

## ～令和5年4月 データから見た業界の動き～

令和5年5月24日 発表

製造・非製造共に受注量・売上高減少

事業存続への課題は多く、危機感から景況感は低迷

### ■ 概 況

4月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲6ポイント（前年同月比16ポイント↓）

収益状況 ▲22ポイント（前年同月比8ポイント↑）

景況感 ▲12ポイント（前年同月比6ポイント↓）となり、

収益状況のD.I値は前年同月を多少上回ったが、売上高・景況感は前年より低下した。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲20ポイント（前年同月比35ポイント↓）

収益状況 ▲35ポイント（前年同月比5ポイント↑）

景況感 ▲35ポイント（前年同月比30ポイント↓）となった。

物価高騰に伴う値上げ交渉が概ね進んでいることを裏付けるように収益は僅かに回復、しかし受注量は減少しているとの報告も多く、売上高・景況感は大幅に下がった。

一般機械器具製造業では「自動車」や「半導体製造装置」に関しては最終製品の需要と供給のバランスが取れはじめており設備投資（受注）が減少、その他の製造機械装置に関しては使用する半導体不足が続き生産に至らないとの報告があった。

一方織物業では、「他産地で扱っていない"オンリーワン商品"でなければ容認されない」と、製品価格の値上げ交渉が思うように進んでいない。家具製造においても価格転嫁が進まず、前年度対比収益は▲50%とのこと。

非製造業では…

売上高 +3ポイント（前年同月比4ポイント↓）

収益状況 ▲13ポイント（前年同月比10ポイント↑）

景況感 +3ポイント（前年同月比10ポイント↑）となり、

コロナの5類移行により人流の増加・消費活動の活発化が予測されるが、需要に応えられるだけの人員・体制を構築できないため、宿泊業、運輸（タクシー、バス）では受注量をセーブする動きもあり売上げ増加の足かせとなっている。

ガソリンスタンドや警備業、建設業などから人材の確保・定着のため賃上げの必要性を感じる声が多く聞かれたが、原材料・エネルギーの価格高騰分の転嫁が進まない中で、困難を極め、事業継続を危惧する声も聞かれた。

中央会では月次景況調査対象50社に対し、組合員や業界の今年度上半期の景況感・先行きについて聞いたところ、43社（50社中の有効回答数）より回答を得た。回答のうち「良い」は11.6%、「どちらでもない」は46.5%、「悪い」が41.9%となった。

物価高への対応や受注量・売上の減少、人手の不足、後継者の不在など経営課題の解決策が見いだせない事業者が多いことが要因と思われ、ここへ来て経営者の高齢化・後継者の不在による廃業が増えている。

織物業では事業者の減少により「産地存続の危機に直面している」と、業界として事業承継への取り組みを行うも今後どのようにすれば維持できるのか？難しい状況にあると言う。中小企業者が将来に向かって安定して事業を継続していくことができるよう、中央会では専門家派遣事業を活用し、経営改善のアドバイスを強化していくこととしている。

### ■ 調査員からの国等への要望・コメント ピックアップ!

工事によっては見積もりから着工まで1年かかるものがあり、その間の建築資材の価格変動が予測できず、急激に上昇する場合もあるため、着工時の再見積りの「浸透」を行政を含めた顧客に求める。

業界からのコメント

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	コロナ禍の終息が見えはじめ人流が回復し、宿泊施設向けの業務用商品の需要が増加した。ギフト関連商品も好調で売上げは前年同月比113.9%となった。
食料品 (洋菓子製造業)	店舗拡大効果により売上げは前年同月比110%となった。一部商品で値上げを実施しているが売上げに影響は出ていない。
食料品 (麺類製造)	前年同月と比べると売上げは回復傾向にあるが、コロナ禍以前には遠く及ばない。また、組合員の高齢化による事業承継が課題である。
食料品 (パン・菓子製造業)	原材料・包材等の価格の高騰により収益確保が困難な状況が続いている。このため、販売価格値上げ（約20%）に向けた交渉を取引先と進めている。
食料品 (酒類製造業)	新型コロナウイルスの5類移行により、飲食店の客足が増加し、ワインの消費量が増加することを期待している。
繊維・同製品 (織物)	原糸の価格が高止まりしているが、他産地で扱っていない「オンリーワン商品」でなければ価格転嫁が容認されない。また、織物業は染色、整経、撚糸等の一つひとつの工程を専門の事業者が担っているが、廃業等で一つでも欠けると織物が生産できなくなってしまう。産地存続のため組合としての対応を余儀なくされている。
繊維・同製品 (織物)	裏地部門▶ 原糸の納入遅延・不足が続いており、例年と比べて稼働状況が芳しくない。 インテリア部門▶ 受注はあるが量的には少ない状況である。 ネクタイ部門▶ クールビズの時期に入るため、生産量は減少している。 傘地部門▶ 梅雨の時期に向けて、定番商品を生産している。
家具製造	物価高騰による消費活動の停滞を感じている。原材料・電力・燃料価格の上昇分の製品価格への転嫁も全く進んでおらず、前年同月と比べ売上げは▲7%、収益状況は▲50%となった。
紙製造業	前年同月と比べ製品販売価格を10%ほど値上げしたが、売上げは▲10%となった。
窯業・土石 (砂利)	燃料・電力・資材等の高騰により製造にかかるコストが上昇しており、十分な収益の確保ができない状況が続いている。
窯業・土石 (山碎石)	前年同月と比べ売上げは5%増加したが、収益状況は▲7%となった。製品の販売数量は緩やかに増加する可能性があるが、価格転嫁が進まない限り先行きは暗い。

鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	電力価格、原材料価格の上昇で収益の確保が困難な状況が続いており、前年同月と比べ売上げ、収益状況ともに▲5%となった。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上げは▲20%、収益状況は▲18%となった。自動車関連・製造機器などあらゆる分野の受注量が大きく減少しており、半導体の在庫調整も解消が見えないため、しばらくは厳しい状況が続くことを予測している。
一般機器 (生産用機械器具製造業)	工作機械の受注量が減少しているため、製品価格を前年同月と比べ12%ほど値上げした。夏頃には半導体の在庫調整が解消されると言われていたが、ここに来て来年になるとの情報が、先行きは不透明である。
電気機器 (電気機械部品加工業)	原材料価格の高騰や賃上げによる人件費の上昇に対応するため、前年同月と比べ製品価格を10%ほど値上げした。従業員の休日出勤や時間外勤務も増えているため、製造工程の見直し、業務の効率化が必要である。
電気機器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上げは▲40%、収益状況は▲35%となった。半導体関連の見積もり案件は月を追う事に減少し、今やほぼゼロに近い状況である。
宝飾 (研磨)	甲府市で開催した展示会が大盛況で、前年同月と比べ売上げは10%増加した。
宝飾 (貴金属)	地金(金・銀・プラチナ)等の相場の変動が激しく、売上げも安定しない状況が続いている。

## ● 非製造業

卸売 (塗料)	前年同月と比べ売上げは20%増加、収益状況は10%好転した。物価高騰による消費活動の停滞を感じている。
卸売 (水産物)	前年同月と比べ売上げは▲4%となった。組合員は多数の冷蔵庫・冷凍庫を使用しているため、電力価格の上昇による収益状況の悪化が深刻である。
小売 (青果)	春野菜の売れ行きが悪く、前年同月と比べ売上げは▲8%、収益状況は▲5%となった。
小売 (食肉)	新型コロナウイルスの5類移行により、宿泊施設・飲食店の客足・売上げの回復を予測しているが、原材料の価格高騰分の転嫁が進まない限り厳しい状況は変わらないと考える。

小 売 (水産物)	前年同月と比べ売上げは▲10%、収益状況は▲5%となった。今後も仕入価格の値上がりが続くと考える。
小 売 (電気機械器具小売業)	エアコンの販売台数が前年同月と比べ▲62%となったが、夏に向けて売れ行きの回復を期待している。
小 売 (事務機小売業)	近づく総会にて課題等を確認していきます。
小 売 (ガソリン)	人手不足に対応するため、営業時間の短縮や新たに店休日を設定する組合員が増えている。人材の確保・定着のため、業界として5%の賃上げを目指しているが、原材料の価格高騰分の転嫁が進まない中で、困難を極めている。
商 店 街	コロナ禍を経てオンラインショッピングの需要が増加し、小売店は存続の危機である。組合員の減少も収まらず先行きは暗い。
宿 泊 業	電力・ガスの価格上昇により収益の確保が困難な状況が続いている。 コロナ禍の終息が見えはじめ、中止・延期となっていたイベントが開催されるようになり、客足が増加しているが、人手不足が業界全体としての課題である。
宿泊業	新型コロナウイルスの5類移行により、国内・外国人旅行客の増加が期待できるが、深刻な人手不足により、需要に応えられるだけの体制を構築できていない。 また、電力・燃料価格等の上昇分を宿泊料金に転嫁しているが、6月末で全国旅行支援が終了するため、その後の客足の動向次第では宿泊料金を値下げせざるを得ない状況である。
産業廃棄物処理	燃料や電力価格の高騰分を十分に転嫁できておらず、収益の確保が困難な状況が続いているが、人材の確保・定着のため賃上げの必要性を感じている。
一般廃棄物処理	電力価格の上昇、車両・機材等に係る費用の増加（新車納入の遅れに伴う中古車の買い入れ等）により収益確保が困難な状況が続いている。
警 備 業	建築・土木工事の現場が例年よりも多く、前年同月と比べ売上げは7%増加、収益状況は4%好転した。 公共工事の労務単価の改定を受けて受注価格も上昇しているが、施設管理部門の単価は、ビルメンテナンス会社との価格競争により低下した。 人材募集にも力を入れているが、短期アルバイトや副業希望者の応募ばかりで正社員の応募はなく、人手不足が深刻である。警備員の質の向上にも力を入れて取り組む必要性を感じている。
建 設 業 (総 合)	4月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は▲19%、請負金額は▲22%といずれも減少した。

<p>建設業 (型枠)</p>	<p>建築資材の価格高騰分の転嫁が進まず、赤字工事が発生している。 収益状況の悪化から賃上げができないため、人材を募集しても応募がなく、人手不足により受注を断る事態が発生している。このままでは、組合員は事業の継続も危うい状況に陥る。</p>
<p>建設業 (鉄構)</p>	<p>施主やゼネコンは、部材の価格変動や在庫状況によって図面変更や工事を延期・中止するため、中期的な工程を組めず先行きが見通せない。</p>
<p>設備工事 (管設備)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは21%増加したが、原材料価格の転嫁が進まず、収益確保が困難な状況が続いている。</p>
<p>運輸 (タクシー)</p>	<p>運賃の改定により長距離夜間の売上げが好調で前年同月と比べ40%増加した。人手不足のためタクシーの稼働効率が悪化していることが課題である。</p>
<p>運輸 (バス)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは10%増加した。人流が回復し仕事量も増加しているが、人手不足により対応しきれない状況である。</p>
<p>運輸 (トラック)</p>	<p>新型コロナウイルスの5類移行による経済活動の活性化と、荷動きの増加を期待している。</p>
<p>その他(介護)</p>	<p>高齢者の容態により仕事量の増減があるため、新規利用者を獲得していかなければならないが、人手不足により依頼を断らざるを得ない状況が続いている。</p>

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2022年4月	2023年3月	2023年4月	2022年4月	2023年3月	2023年4月	2022年4月	2023年3月	2023年4月
売上高	15	▲ 20	▲ 20	7	17	3	10	2	▲ 6
収益状況	▲ 40	▲ 30	▲ 35	▲ 23	0	▲ 13	▲ 30	▲ 12	▲ 22
景況感	▲ 5	▲ 20	▲ 35	▲ 7	7	3	▲ 6	▲ 4	▲ 12

※( (良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

